



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...



2月号
マメを
たべたべ

福玉便り

ふく たま だ よ り

2017年2月1日発行

通巻第57号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉
 協力:パルシステム埼玉生活協同組合 生活協同組合コープみらい埼玉県本部 デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉
 連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 TEL048-833-8731 メール:fukutama@431279.com

シンポジウム

震災から6年、広域避難者の生活と支援を考える

～いま、埼玉の市民と行政にできること～

日時:2017年2月28日(火) 18:30~20:30

参加費無料、申し込み不要です。
直接、会場にお越しください。

場所:浦和コミュニティセンター第13集会室(JR浦和駅東口前パルコ10F)



震災から6年を経ようとしている現在、福島県浜通りでは、浪江町や富岡町が平成29年度の避難指示解除に向けた取り組みを加速し、コンパクトシティや生活拠点が整備されつつあります。また、一昨年避難指示が解除された楢葉町、昨年解除された南相馬市小高区では「市民・町民帰還は10%を超えた程度」とも言われています。浜通りで生活を再開するには何が必要なのか、「帰還」はあきらめていないものの当面は避難先で生活する以外に選択肢がない方には何が必要なのか、考えていく必要があります。

他方で、避難指示区域外からの自主避難者への借り上げ住宅提供は2017年3月で終了し、避難指示区域の方々の住宅提供も遠くない時期に終了が予想されます。こうした方々が生活困窮に陥らず、次の生活に移行できるように、避難先の自治体・市民ができることを考えていく必要があります。原発事故による避難者の問題は、そう簡単に解決できるものではありません。

このシンポジウムでは、福島大学の今井照先生に基調講演をいただくとともに、これまでの県外避難者支援の活動を振り返って、今後の県外避難者やその支援のあり方について埼玉県内の自治体職員や一般市民の皆様と一緒に考える機会にしたいと考えています。

内容

- 被災者調査から考える自治体の使命(ミッション)/今井照さん(福島大学行政政策学類教授)
- 埼玉県における広域避難の現状と課題～自治体・避難者調査の知見から～/原田峻(立教大学コミュニティ福祉学部助教)
- 埼玉県における避難者支援の取組み/永田信雄(埼玉県労働福祉協議会専務理事・埼玉広域避難者センター専務理事)
- 埼玉県の区域外避難者の現状と今後の課題/吉田千亜(ライター) 他

主催:NPO法人 埼玉広域避難者支援センター

共催:一般社団法人 埼玉県労働福祉協議会、NPO法人ハンズオン埼玉

後援:法政大学人間環境学部、立教大学コミュニティ福祉研究所

本シンポジウムは、タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム(2016年度)の助成をうけて開催します。また、科学研究費「「強いられた」コミュニティ再編を巡る復興支援と制度に関する比較研究」(研究代表者:西城戸誠)、旭硝子財団「コミュニティの再編に対する復興支援員制度の比較研究」(研究代表者:西城戸誠)の成果の一部です。

埼玉県上尾市シラコバト団地被災者の会ひまわりによる

東日本大震災追悼式 2017年3月11日(土)

東日本大震災から6度目の黙祷の会を開催します。皆様の心を持ち寄り下さいませ。

14:00~第一部「黙祷の会」シラコバト団地ぞうさん公園 駐車場有

※雨天時は第一集会室にて開催。

15:30~第二部「語らいの集い」シラコバト団地第一集会室(24号棟)

※粗宴の用意をしております。(飲食物持込歓迎。冷蔵庫有り)

JR高崎線北上尾駅東口より徒歩15分 桶川駅東口より徒歩20分

主催 東日本大震災に咲く会 ひまわり

問い合わせ シラコバト団地自治会 048-607-6723(当日は12:30迄) 橘(タチバナ)080-3091-6215



南相馬市の集い in 越谷

2016年12月14日(水)、越谷市のパーティ会場、福島県復興支援員埼玉事務所の主催による「南相馬市の集い in 越谷」が開催されました。この会に参加されたお二人の方から感想をお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。



12月14日、南相馬市避難者の集いに、同じく原町区から避難しているママと参加させていただきました。以前に川越で行われた時も参加させていただきました。避難元の方々と交流がとて懐かし

く、楽しかったので、また越谷で行われると聞き参加させていただきました。同じ年代の方々はいなかったので、「原町のどこ?」と聞かれ、嫁ぎ先と実家を教えると、「じゃ、〇〇さんの近く?」「〇〇さん知ってる?」と



言われ、「知ってます〜」と、自分が居た場所が分かる方と話が出来るとても嬉しかったです。

みなさん避難していても楽しく一生懸命に頑張っているという気持ち、今後帰還しますという方の前向きな気持ち聞いて、自分にも勇気と元気をいただけた様でした。私も頑張ります!! と言えた日でした。沢山笑えてとても楽しかったです。みなさん、とてもダンスが上手な事にビックリ!! でした。

(太田吉子さん)

南相馬市交流会に参加させて頂きました。今回で2回目の参加になりますが、皆さんは他の参加者と面識があるようで、それぞれの現状の話で盛り上がっている様子でした。時間になり自己紹介から始まりました。私が一番印象に残っていたのが、「福島の事を話すと今でも涙が出ます」と

ん。この5年間、この場では話しきれない程の苦労や努力があった事を物語っているように思えました。それでも真つ直ぐ前を向いている姿に胸を打たれました。

他の参加者の皆さんに共通している事があります。それは今を楽しく生きている事です。趣味を活かして大会で優勝した方、ドライブが好きで都内どこでも運転するおじいちゃん。今回参加してみて皆さんの前向きな姿に私は勇気をもらいました。そして今を懸命に生きる。そんな言葉を教

えられた気がしました。同じ南相馬市民として誇りに思える方々と交流会をご一緒させて頂いて、本当に良かったです。また機会があれば参加させて頂きます。ありがとうございました。

(高野美香子さん)

第2回「相談・交流・説明会」を開催します 福島県県外避難者相談センターからのお知らせ

- 日程: 2017年2月18日(土) 10:00~15:00
- 会場: 朝霞市産業文化センター
東武東上線朝霞台駅、JR武蔵野線北朝霞駅下車徒歩5分

福島県、南相馬市からの情報提供の他に、個別相談コーナーを設けますので、仕事、賠償など、気にかかることをお気軽にご相談ください。交流会では健康体操で体を温め、歌で心も温まる時間を過ごしたいと思います。

参加申し込みは2月15日(水)まで。ご連絡をお待ちしています。

【福島県県外避難者相談センター】
TEL:0120-60-7722 FAX:048-816-4800
メール:fukushima_soudan@yahoo.co.jp

☆相談センターには様々な支援情報や自治体の広報、新聞等を揃えた交流コーナーがあります。いつでもお気軽にお越しください。お待ちしております。

開設日・時間 / 月~金曜日 9:00~17:00
場所 / さいたま市役所隣の「ときわ会館」1階



「さいがい・つながりカフェ」を、
2月5日(日) 10時~12時に行います。

平日には参加しにくかった方はぜひこの機会にお越しください。13時40分~14時10分にはステージに上がって今年もまた歌います。少しずつ練習し、声を揃える楽しさを感じられるようになりました。一緒に口ずさんでいただければ嬉しいです。その他、フェスティバルでは様々な発表や展示が盛りだくさん。フォトジャーナリスト安田菜津紀さんによる講演会もあります。皆様のご来場をお待ちしています。

(さいがい・つながりカフェ実行委員 薄井)

おせち料理作り

加須ふれあいセンター

毎年暮れが近づくと話題になるのが「おせち料理を作るのが大変、かといって高いおせち料理を買っても、あまり食べるところがなくともつたない」という会話です。

そこで自分達で実用的なおせち料理を、双葉と埼玉の良いところ取りで作っちゃおうということになりました。料理の品目は、「昆布巻き」・「双葉名物のあおばた入り数の子」・「双葉名物いか人参」その他15種類です。価格は5千円で、希望者を募ったところ21セットもの注文がありました。調理はセンターで毎日ランチを作っている食堂チームのスタッフのみなさんと応援の6名で3日かかりでしたが、そして無事にお渡しの日、31日を迎えることが出来、加須ふれあいセンターの1年の活動が終わりました。（加須ふれあいセンター 富沢）



新座さいがいつながりカフェのクリスマス会

12月17日（土）、新座市の栄公民館で、新座さいがいつながりカフェのクリスマス会が開かれました。新座さいがいつながりカフェは以前、参加者の皆さんがお住まいになっている国家公務員宿舎の集会所で開催していましたが、今年度は諸事情から公民館で開催しています。私も学生を連れて、約1年ぶりにお邪魔させていただき、参加者の皆さんと再会することができました。

当日は、本田さん（南相馬市）によるフラダンスでスタート。代表の福地さん（東松島市）のご挨拶で乾杯し、美味しい食事とケーキをいただきました。SSNの愛甲さんのギターによる合奏、事務局の谷森さんによる手遊び歌、ビンゴゲームで和やか

に盛り上がったあとは、「今年を振り返って一言」の時間。この日来ていた全員で順番に、この一年のこと、次の年のことについて、発表をしました。最後は持ち寄ったプレゼントを交換し、閉会となりました。

国家公務員宿舎にお住いの皆さんは、この春に引越を決断された方が大勢いらっしゃいます。埼玉県内の他市に家を購入された方、福島県内の復興公営住宅に転居される方、他県に家を購入された方。皆さんからは、「家が決まって一安心」という声と同時に、「引越をする皆さんと会えなくなるのが寂しい」という声が聞かれました。

参加者の皆さんの引越に伴い、新座さいがいつながりカフェは今年度で一旦納会となりました。

すが、「3カ月に1回でも集まれる人で集まりたい」「近況報告通信でつながってほしい」といった案が出ているそうです。私からも「他県にお引越されても、良かったら『福玉便り』を読んでくださいね」とお伝えさせていただきました。また皆さんと会える日を、楽しみにしております。

（編集部・原田）



山本はるみさん

浪江町から川口市に避難

自宅は浪江町請戸地区にありました。海からは50メートルもないくらいで、浜風が涼しかったですね。仕事はサンプラザという地元のショッピングセンターの美容室で、美容師をしていました。こう見えて、うちのお店は意外と繁盛してたんですよ。客層の幅も広がったし、すごくやりがいがあった、「いい仕事を私たちはしてたんだな」って今思います。

3月1日はちょうど次男の中学校の卒業式で、旦那も私も休みをもらってたんです。卒業式が終わって自宅で一息ついてるときに、大きな地震が来ました。子どもたちのことが心配で、旦那と私が車2台で、迎えに行くことにしました。揺れてる中で義父母と犬を置いていくのも心配だったから、旦那の車に乗ってもらって。津波が来ると

いう認識はまったくなかったんだけど、旦那はパジャマとかも手に持ってきたの。「何となく虫の知らせじゃないけど」って後で言っていましたけどね。そしたら町の誘導で「こっちに行ってください」ということで、戻れなくなりました。浪江の山のほうにある義母の実家に寄ってから、旦那と私はまた、真っ暗な中で子どもたちを探しに出掛けたんです。夜中にやっつとメールが通じて、旦那から「長男見つかった」と

ていうのだけは来た



んだけど、次男とは連絡が取れなくて。心配で心配で、真っ暗な中で夜空を見上げたら、こわいくらいの静けさの中で星だけが光っていたことをよく覚えてい

ます。翌日に次男とも連絡が繋がって、南相馬の親戚の家で合流して、そこで1泊させてもらったかな。大きい病院で義母のお薬をもらわ

ないといけないし、ガソリンがあるうちにもっと中通りのほうに行くかっていうことで、川俣町に行きました。ただ、うちは犬がいるから避難所には入れなくて、車中泊をしようと思ったら、夕方暗くなってからぎりぎりの時間に、私たちを探していた白河の親戚と再

会して、「良かったら来ない？」と言ってもらって。奇跡あるものだと、心底助けられたと思いました。食べ物もなく、何もどこにも売ってなくて、ガソリンもなく、お風呂にも入っていません。着替えもできなくて、究極の状況でしたから…。その白河の親戚宅で1週間お世話になりました。3日ぶりにお風呂に入らせてもらい、田舎で井戸水ですごく助かるなあと思いました。農家だと野菜

やお米があって、本当にありがたかったです。

不思議なのは、人って究極になるとお腹も空かないんだなあということ。頭の中が整理整頓できていくと、優先順位ができていくためにどうするか、今自分が置かれた状況を把握するだけ。いっばいいっばいで、お腹がどうのまで行きつかなくなったのだと思います。ガソリンどうしよう、いつまでこの状態なのか、どうなってしまうのか…。今考えても、その頃の不安は計り知れなくて、毎日友達や親、妹とメールで状況を確認し合うのがせいじっぱいだったと思います。ましてや原発が爆発してしまうことなど、想像したこともなく、毎日が非現実的な生活でした。

白河の親戚宅もみんな親戚が集まってきて、20人近くになると合宿所のようになり、みんなそれぞれ考えていることを言わなかつ

たり、次にどうするかを隠しながら生活していたような状況でしたので、主人が何とか埼玉の親戚と連絡を取り、関東に行けば何とかなると白河を後にしたことをよく覚えています。親戚とは言うものの、人数が多くなれば、そんなに長期間お世話になることはできないので、埼玉の親戚宅に着いた時は、本当に無事に移動できて良かったと安堵しました。

そうして藤の親戚宅にまたお世話になりました。インターネットで偶然にも川口の方と出会い、部屋を貸してもらうことができました。犬がいるため公園やアパートはだめで、本当に困っていたのですが、震災以降すぐにネットで空いている部屋を貸してくれるサイトが立ち上がって、運良くその方と巡り合うことができました。その後、長男は福島県内で就職、旦那も福島県内に転勤となり、次男は他県の大学に進学し、私は

こちらで仕事を始めていたので川口の借り上げ住宅に移りました。2週間か10日に一遍、福島と埼玉を歩き回っています。

こちらで仕事を始めたのは、2011年の9月からです。インターネットでオンラインスタッフを募集しているのを見て応募して。金銭的な問題よりも、精神的な問題ですよね、仕事するってこういうのは。それによって、自分が進めるといふか。

今回の震災では、インターネットの力が大きくて、家探しも職探しも、あとは生活に関するあらゆる物もインターネットを通じて全国の方と知り合って、いただくことができました。鍋とかお皿とか…。全国の24人の方からです。ある方は体温計を、またある方は縫い針と縫い糸を送ってくれました。津波で何もなくなっちゃけれど、全国の方々の大きな思いをいただいたと思っっているの、本当に感謝しています。その思いは、忘れたことはないです。

自宅が流されたことを知ったのは、震災から数日経ったからです。でも自分の目で見ると、うそだと思っっていました。2011年の7月に旦那と一緒に立ち入って、自分の家があった所に立って。その時の状況は何となく覚えてるけど、私の記憶に残っているのは、昔のきれいだった景色なんです。

震災から6年を迎える頃になりました。6年です。でも私たちはまだ6年という思いです。記憶はだんだんなくなり、少しずつ年齢を重ねてくると体力も気力も不安になってきます。時間と忙しさで、ちよつとすると、「福島での生活が夢であって、ずっと関東に生活していたのかな」とさえ分からなくなってしまう時があるけれど、人は生きていらないと意味がない。生きていく時にやりたいこと、できることをしなきゃいけないのだという決意を再認識しながら自分を奮い立たせています。

定住も考えなきゃ…と思

います。主人も両親もずっと仮設住宅にいたけれど、仮設住宅ももう6年近くなくなってると老朽化してきて、住んでいる人も減ってきています。でも前の所に住めないのなら、どこに行っても私たちがよその人です。元々の地元の人たちや土地にはなじめない。そういう思いが正直、心の底には常にあります。だからどこに行っても、寂しい。でも、まだまだ決められない。だから落ち着かないんです。それでも頑張らなきゃ…。生きたくても生きられなかった人たちのためにも、頑張って生きなきゃ…。そういう思いを背負って、毎日がむしやらずです。友達には「また会おうね、元気なうちに、生きていくうちに」というのが合言葉です。

でも何年経っても、自分の生きてきた故郷は色あせることなく、思い出は消えないもんです。故郷は福島のある場所にしかありませんから…。

(聞き手・編集部・原田)

今号の発行は、生協パルシステム埼玉の皆様のご支援をいただきました。ありがとうございました。

映画上映「飯館村の母ちゃんたち土とともに」

【3.11企画第2弾】東日本大震災から6年「いまだから、見えてくること」

監督：古居みずえ。

原発事故から6年。「笑ってねえどやってらんねえ」へこたれない母ちゃんたちの愛しき友情ドキュメンタリー映画です。上映の後は、被災地商品の試食をしながら、新電力のお話、復興支援の取り組み報告も行います。

日時 2月18日(土) 10:30~13:00

場所 ぱる★てらす (JR浦和駅東口徒歩3分) 埼玉県さいたま市浦和区東仲町10-7 0120-58-3388

定員 30名 参加費 無料

託児 有(託児料無料・組合員以外は300円・託児人数10名) 子どもの同室 不可

申込方法 応募フォーム・FAX・ハガキ(下記、組織運営部宛)

申込締切 2月5日(日)(必着) 持ち物 当選ハガキその他

参加される方全員のお名前をご記入ください。

※当落の結果は主催者から2月14日(火)までに、全員にご連絡します。



pal*system

パルシステム埼玉

パルシステム埼玉生活協同組合

〒335-0005 埼玉県蕨市錦町 2-10-4

TEL 048-432-7093 FAX 048-432-0850

URL: <http://www.palsystem-saitama.coop/>

住宅問題を考える20

2017年3月で打ち切られてしまう区域外避難（自主避難）者への借上住宅の供与。これまでこの「福玉便り」にも何度も記事に書いてきました。2015年6月の打ち切り発表直後から、複数の避難者さんが、埼玉県知事や県議会議員や住宅課の職員に、困窮している状況を伝え、今後についての要望を訴え続けてきています。

「ぼろろん」でも、埼玉広域避難者支援センター（福玉センター）でも、この問題の重大さを鑑み、これまでに、埼玉県からの説明会・お話し会・相談会等を開催してきていますが、先日開催された1月6日の県営住宅相談会でも、「実際の入居希望者が少ない状況がある」というお話が、埼玉県職員からもありました。他県の支援施策に比べると、埼玉県は早々から県営住宅の優先入居枠を作り、条例改正をして、要件を緩和・撤廃し、だれでも応募ができる特別県営住宅の応募を行うなど、「埼玉県に避難し続けたい人が、埼玉県に避難し続けられますように」というメッセージともなる具体

的な施策を届けています。戸別訪問担当者からも「一人も住まいが見つからないという人を出さない」という思いでやっている職員から聞いていますが、それでもやはり、ここへきて、一人ひとりの状況に合った対応が求められてきています。同時に、国や福島県が、改めて借上住宅の問題点に向き合わない限り、もうどうにもならない人も出てしまう状況であるとも言えます。

この「福玉便り」の読者の方、あるいは、周囲にいる方の中で、4月以降のお住まいが、どうしても見つからない、という方はいらっしやいますでしょうか。「5年以上かけて積み上げた暮らし（特にお子さんの環境）を変えたくない」「まだ避難元の放射線量が心配だから避難し続けたい」「あるいは「家賃を支払うのは厳しい」「引っ越し費用をどうしたらいいのか」という声は、打ち切りの発表からも、繰り返し聴かれています。差し迫る中で「本当にどうしたらいいのか、わからない」という方は、【福島県外避難者相談センター】TEL..

0120-60-7722までご連絡ください。

暮らしの基盤である大切な「住宅」について、今後、3月までに改めて、国や福島県、そして現に住んでいる人が存在している埼玉県、受け入れ市町村が真摯な対応をすることを願います。

【今後のスケジュール】

●特別県営住宅（上尾しらこぼと団地）は、3月までにもう一度募集がかかる予定です。詳細は県からのお知らせに注意してください。

●民間賃貸住宅には、要件を満たした場合は、福島県から家賃補助が2年間のみ出ることになっていきます。申し込み書類の提出がありますので、必要な方はお早めに福島県に連絡してください。

（福島県・民間賃貸家賃補助相談ダイヤル）0800-800-0218、0800-800-0261、0800-800-0273（無料）

牛山元美先生に聞いてみよう —甲状腺のこと、健康のこと

2017年3月25日（土） 10時～12時
場所：With Youさいたま 4階
（JRさいたま新都心駅西口）

気になる最新の健康に関する情報、甲状腺エコー検査の動画を見ながらのセカンドオピニオン等ざっくばらんに聞いてみませんか？

健康相談を続けている牛山先生が教えてくれます。

主催：NPO法人埼玉広域避難者支援センター
問い合わせ：090-4226-9259（吉田）

被災者支援オーガナイザーワークショップ

被災者の方はもちろんOKの支援者向け企画です。避難されている方のお困りごとの具体的な事例をもとに、一般のボランティア、法律、医療、心、社会福祉などの専門家が考えを出し合い、どのように相談に対応するか、解決するために適切な社会資源にどうつながるかを学びあいます。

【日時】2017年2月4日（土）13:45～17:00

【会場】武蔵浦和コミュニティセンター

【交通】JR「武蔵浦和」駅 西口よりデッキ直結（徒歩2分）

【詳細】<http://431279.com/event/20170204.html>

避難者とその家族への「いじめ」問題について

昨年11月、福島県から神奈川県に避難したお子さんが、避難先の学校の同級生たちからいじめに遭い、高額の商品を要求されていたという事件が報道されました。その後、新潟県や東京都でも同様の問題があったという報道が相次ぎました。避難者の方々に対する無知や偏見が存在することに対して、私たち『福玉便り』編集部は深い悲しみと憤りを感じざるを得ません。

この事件を発端として、『福玉便り』編集部メンバーに対して多くのマスコミの皆さんからお問い合わせをいただきました。もちろん私たちも、マスコミの皆さんの「いじめで苦しむ子どもを無くしたい」という熱意を共有していますが、コメントや番組出演はすべてお断りさせていただきますました。その理由と『福玉便り』のスタンスについて、この場を借りて説明させていただきます。

取材をお断りした第一の理由として、いじめの連鎖に対する懸念があります。いじめ事件や自殺などについて

は報道が過熱すると、いじめの現場で用いられた言葉や暴力が、詳細にわたって紙面やテレビを賑わし、連鎖的に同じ状況が起こる危険性があります。今回の件においても、報道そのものが、避難しているお子さんたちを傷付けたたり、場合によっては新しいいじめを誘発してしまったりする恐れがあり、実際にそのような報告も受けています。こうした二次被害を防ぎたいというのが、私たちが最初に考えたことです。

取材をお断りした第二の理由として、「原発事故で避難した子どもがいじめに遭った」という事実だけが報道されることで、学校の体質など、そもそもの問題の本質が見えなくなる恐れがあります。例えば報道のあった神奈川県内の学校では、いじめが発生しやすい状態になっていて、可能性が高く、「原発避難」はいじめの1つのきっかけ(名目)に過ぎなかったのではないかと考えられます。いじめは、発生しやすい体質になっっている学校では、さまざまな名目で発生します。まず

は、「原発避難」とは切り離して、学校の体質そのものを検証することが重要だと考えました。

その上で、私たち『福玉便り』編集部では、以下の2点が重要だと考えています。

まず、「いじめ」という極端なケースのみを過剰に取り上げるのではなく、広域避難をしたお子さんたちの受け入れ体制こそを、今一度見直す必要があると考えます。避難しているお子さんたちの状況は多様です。私たちが取材や交流会でお会いしてきたように、避難先の学校で適切な対応がされ、避難先ですらに学校生活にも馴染んでいるお子さんたちも多くいらっしゃいます。その一方で、地元の友達や親戚と離れ離れになり、慣れない土地で学校生活や受験を経験して、ストレスを抱えているお子さんたちが多いことも事実です。こうしたお子さんたちに、学校や関連機関が連携をして、十分なケアを行う必要があります。

また、今回の問題の背景には、いじめを行った子どもたちの周りにいる大人たちが、福島の人々に対する差別的

で誤った知識を広めていた可能性がります。大人が、社会が正しく知ろうとせず、伝えようとしないうちに、子どもたちの間で歪んだ関係が発生することを許してしまつたといえます。今回、取材の依頼をいただいたマスコミの皆さんとのやりとりでは、問題を単純化し「原発避難↓いじめ」というとても安易なイメージのみが増幅していくことが懸念され、こうした視点を共有していただくのは今回は難しいのではないかと判断しました。マスコミの皆さんには、「いじめ」にのみ焦点を当てるのではなく、震災・原発事故について今一度丁寧に報道していただきたいと願いますし、私たちにできることがあればそのためのご協力をいたします。

以上の理由で、私たち『福玉便り』編集部としては、本件に関するコメントを控えさせていただきます。ただ、もし埼玉でもいじめの問題で悩んでいるお子さんがいらしたら、ご家族だけで抱え込まずに、ご相談ください。私たちも一緒に考えます。

(『福玉便り』編集部一同)

『シンポジウム「首都圏避難者の孤立を防げ」&交流広場』

首都圏に避難されている方々について一緒に考える場です。ぜひお越しください。入場無料。

【日時】2月25日(土) 13:30~17:00 ※13:00 開場

【会場】早稲田大学
早稲田キャンパス 11号館 506教室 シンポジウム 11号館 508教室 交流広場 (新宿区西早稲田 1-6-1・地下鉄東京メトロ東西線「早稲田」駅より徒歩5分・荒川線「早稲田」駅より徒歩5分)

【詳細】<http://431279.com/event/20170225-2.html>
【お問い合わせ】震災支援ネットワーク埼玉 TEL 048-829-7400 MAIL desk@431279.com

福玉便りのお届け作業を一緒にやっく下さる方、大募集!

2月23日(木) 13:30-16:00ごろ

場所:埼玉労福協(ときわ会館1F)

印刷などの都合で日程が変更になると

きがあります。できれば、ご一報ご確認いただければ幸いです。労福協 048-833-8731まで



『福玉便り』編集委員会

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
電話048-833-8731

メール:fukutama@431279.com

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。

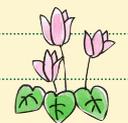
福玉便りお送りします。
ご希望の方にお送りいたします。
ご連絡お待ちしております。

29 鳩のつどい
 月2回 10:00~12:00
 JAXA鳩山宿舎108号室
 ☎049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

32 福玉・謡曲の会
 2/19(日)、3/26(日)10:30~12:00
 WithYouさいたま和室
 ☎090-6128-1948(小林さん)

33 つながり
 毛呂山町 ☎090-9032-8116 河井さん

| | |
|--------|----------|
| 1日(水) | |
| 2日(木) | 3 |
| 3日(金) | |
| 4日(土) | 8 |
| 5日(日) | |
| 6日(月) | |
| 7日(火) | 23 |
| 8日(水) | |
| 9日(木) | 17 19 |
| 10日(金) | 24 |
| 11日(土) | 8 |
| 12日(日) | |
| 13日(月) | |
| 14日(火) | |
| 15日(水) | |
| 16日(木) | 1 |
| 17日(金) | |
| 18日(土) | 4 |
| 19日(日) | 15 25 27 |
| 20日(月) | |
| 21日(火) | |
| 22日(水) | |
| 23日(木) | 19 |
| 24日(金) | |
| 25日(土) | |
| 26日(日) | 28 32 |
| 27日(月) | |
| 28日(火) | |
| 29日(水) | |
| 30日(木) | |
| 31日(金) | |



18 ひまわりの会
 2/15(水)10:00~ やすらぎ会館
 ☎080-5431-0123(島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
 月2回木曜日11:00~15:00
 2/23(木)、3/9(木)、3/23(木)
 With You さいたま 4F 和室
 2/5(日) With Youさいたまフェスティバルでカフェ開催
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
 04さいがい・つながりカフェ ☎048-601-3111、tunagarisaitama@gmail.com

22 浪江のしゃべり場
 浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。
 月曜日~金曜日10:00~17:00
 浪江町復興支援員 埼玉事務所
 さいたま市 ☎048-833-8731(埼玉労協)

23 和光3・11 つながりカフェ
 3/7(火)~12(日) 第5回 みんなでつながろう in和光 チャリティイベント&コンサート サンゼリア小ホール 他 ※詳細は先月号
 ☎048-452-7606(和光市ボランティアセンター)

24 新座さいがい つながりカフェ
 2/18(土) 納会 13:30~ 栄公民館 2F 研修室
 3/10(金)和光3・11 つながりカフェに参加
 新座市 ☎090-2402-9155(谷森さん)

25 青空あおぞら
 2/26(日)、3/19(日)
 13:30~16:00 新所沢公民館
 (法律相談可能、お子様OK)
 所沢市 ☎048-829-7400(SSN)

26 お茶飲み交流会
 隔月1回 10:00~12:30
 ☎049-251-2711(富士見市安心安全課 梶田さん)

27 おあがんなんしょ
 2/19(日) 料理づくりと食卓会
 上福岡公民館調理室
 3/19(日) サロン(あんなこと・こんなこと)フクトピア
 ☎090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
 心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。毎月1回
 2/11(土)ぼろろん♪と共催(詳細は別枠)
 3/26(日)交流会 10:00~JUNホール
 ☎070-5594-0053(鈴木さん)

4 加須ふれあいセンター
 2/18(土) 10:00~ふれあい朝市と定食、13:00~埼玉合唱団「歌う会」・荒引定男演奏
 3/18(土) 10:00~ふれあい朝市と定食
 加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

5 ぴえろの遊び広場
 2/25(土)10:00~14:00
 加須ふれあいセンター
 sai.jacdp@gmail.com(坂本さん)

6 負けねっちゃきりり
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。
 伊奈町 ☎090-7244-9267(高橋さん)

7 向原団地被災者の会
 時々交流会しながら、つながって行きましょう(*^o^)/(^-^*)
 上尾市 ☎080-6044-2922(富永さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
 毎月第1土曜日
 2/4(土)餅つき 9:00~12:00 シラコバト団地24号棟前広場
 3/4(土) 定例会合10:00~12:00 シラコバト団地第一集会所
 3/11(土) 東日本大震災追悼式 ※詳細は1ページ
 上尾市 ☎048-607-6723(団地自治会事務所)、☎080-3091-6215(橋さん)

10 くまがや結の会 熊谷市
 090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
 羽生市 ☎080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
 久喜市 ☎090-6855-7140(木幡さん)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン
 ☎0480-33-3455(佐藤さん)

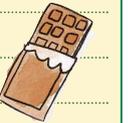
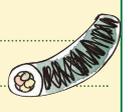
14 春日部つながりカフェ
 2/8(水)3/1(水)13:30~16:00
 コープラザ春日部 2Fキッチングループ(法律相談可能。料理にご参加いただける方はエプロンをご持参ください)
 ☎048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場
 2/19(日)、3/19(日)12:30~16:30 参加費無料
 ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
 ☎090-6456-5497(今野さん)

16 あゆみの会
 越谷市 ☎090-9425-2001(石上さん)

17 つながりの会
 2/9(木)、3/9(木)
 東北復興支援販売 10:30~16:30
 草加市物産・観光情報センター
 ☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

| | |
|--------|----------|
| 1日(水) | |
| 2日(木) | 3 |
| 3日(金) | |
| 4日(土) | 8 |
| 5日(日) | 19 |
| 6日(月) | |
| 7日(火) | |
| 8日(水) | 14 |
| 9日(木) | 17 |
| 10日(金) | |
| 11日(土) | 28 |
| 12日(日) | |
| 13日(月) | |
| 14日(火) | |
| 15日(水) | 18 |
| 16日(木) | 1 |
| 17日(金) | |
| 18日(土) | 4 24 |
| 19日(日) | 15 32 27 |
| 20日(月) | |
| 21日(火) | |
| 22日(水) | |
| 23日(木) | 19 |
| 24日(金) | |
| 25日(土) | 5 |
| 26日(日) | 25 |
| 27日(月) | |
| 28日(火) | 24 |



福玉便り発送 13:30~



1 双葉町民による ボランティアカフェ
 2/16(木)味噌作り [材料費:1000円]
 3/16(木)法律相談会(予定)
 10:00~15:00(法律・心の相談可能)
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市騎西501-13 ☎048-829-7400 SSN

3 双葉町老人クラブ女性会 &さいがいつながりカフェ
 2/2(木)、3/2(木)10:00~12:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 ☎080-5532-7380(薄井さん)

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)

ぼろろん♪の時間
 2/11(土) 親子イベント♪いちごの時間ですよ♪
 ベリーランド狭山、サイボクハムとなりの温泉施設でランチ&交流会
 バス利用可(要予約)
 cheer@kxa.biglobe.ne.jp(吉田さん)、070-5594-0053(鈴木さん)